

請願番号	請願第20号	受理年月日	平成21年6月17日
請願の件名	<p>物価に見合う年金引き上げを求める請願</p> <p>[請願の要旨]</p> <p>高齢者福祉の充実など日頃のご努力に心より敬意を表します。</p> <p>私たち高齢者は、年金や介護保険の改悪、年金課税の強化、後期高齢者医療制度の強行などに加えて物価高騰が追い打ちかけ、厳しい生活を強いられています。年金者組合の調査でも「これ以上、衣食住費が高騰したら死ぬばかり。自殺も考えている」「お金がなくて病気をしても病院には行けない」など悲鳴のような声が寄せられています。高齢者への課税が強化され、健康保険料、介護保険料が引き上げられる一方で介護の利用料・医療費が上がるなど、この数年高齢者への負担増が押し付けられてきました。しかも、政府の物価指数は、IT機器やテレビ、パソコン、カメラなどの大幅な下落を含むもので、実態より低く抑えられています。実際には生鮮食料品などが高騰しつつあるなか、高齢者は食べることにすら切り詰める生活を余儀なくされています。</p> <p>無年金者・低年金者への対策は放置され、高齢者の自殺や犯罪も激増するなかで、マスコミも高齢者の貧困に注目し始めています。物価に合わせて年金を引き上げるのは世界の常識です。日本の年金も物価スライド方式でした。ところが、政府はマクロ経済スライドを導入したばかりでなく、賃金が下がれば物価スライドを適用しないことを決め、さらに、過去の「引き下げ凍結分」も適用して物価が上がっても年金を上げない仕組みを2重3重に作っています。政府・厚労省は本年度も物価が高騰しているにもかかわらず、年金の引き上げを行いませんでした。</p> <p>これは、高齢者の生存権を認めない不当なものです。私たちは物価高騰に見合う年金引き上げを求めて、下記事項について地方自治法第99条に基づいて国に意見書を提出していただきますよう請願いたします。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 物価高騰に見合う年金の引き上げを行うこと。 2. その際、無年金者・低年金者に「生活支援金」を上乗せして行うこと。 		
紹介議員	<p>満行 潤一 井上 紀代子 前屋敷 恵美</p>		

摘

要